

令和4年度 第2回学校評議員会 議事録

岩手県立杜陵高等学校

1 日 時

令和5年2月10日（金）15：00～16：10

2 会 場

本校大会議室

3 議事録

(1) 学校経営計画・目指す学校像・今年度の重点目標について

【校長】

- ・ICT活用を推進し、授業改善につなげたい。
- ・自己肯定感について、本校は全国より低く、本県も全国より低い状況にある。
- ・出席率や単位修得率については、引き続きがんばりたい。
- ・生徒は、信頼できる先生がおり高校生活に満足していると回答している。また、楽しく登校できている。

(2) 今年度の重点目標達成指標について

ア 教科の授業内容がわかる生徒の割合

【A評議員】

日々の授業をゆっくりと分かるように進めてくれるので、生徒は不登校にならずにいられる。

イ 自分によいところがあると答えた生徒の割合

【B評議員】

回答するのが一番難しい項目だろう。地域によって数字は変わってくる。

【A評議員】

先生方が、生徒のところに“降りて”きてくれている。先生自身の半生や生き方を語ってくれるため、「〇〇先生と話したい」と言う生徒もいる。

【C評議員】

本来は、この項目については、100%としたいところ。復興教育の一環として、釜石高校定時制の生徒が社会との関わりを深め、社会参画の意欲や自己肯定感を高めた事例もある。

ウ 出席率、単位修得率の割合

【A評議員】

80%以上の数字は素晴らしい。現在、自分自身も通信教育で、ある講座を受講しているが、取り組むのは大変である。通信制の生徒の皆さんを尊敬する。保護者との連絡も密で、家庭にとってもありがたい。

エ 先生方は、自分が相談したときにきちんと応じてくれると答えた生徒の割合・高校生活に満足と答えた生徒の割合

【B評議員】

色々な理由で、学校がいやになる。例えば、「先生が苦手、イヤ」等である。生徒が先生を信用するまでもっていかなければならない。人生の中で、学校生活は短い。卒業の長い人生を過ごすときに、学校の持っている「生徒に信用されるノウハウ」を広められないだろうか。杜陵高校の実践はすばらしい。

【校長】

本校は大ベテランの先生方が多い。経験豊富な先生方がいるので、生徒にとっては何があっても大丈夫という雰囲気がある。

オ 希望する進路目標を達成した生徒の割合 a

【A評議員】

「高校だけは卒業しておこう」と考えていても、どうしても学校に通えない人がいる。苦しんでいる。先生方は、あの手この手を使って、卒業までもって行ってくださる。これからもそうしてほしい。

【副校長】

（就職を希望している生徒への対応について）本人と一緒に担任も事業所に同行する場合もある。できる限りの支援をしたい。通信課程への社会の理解を広げていきたい。

(3) 自由討議

【A評議員】

部活動の活躍について、どのような練習をしたのか。

【副校長】

卓球で全国大会ベスト8に入った選手は、日頃大人に混ざって練習するほど熱心。大会直前まで心配な面もあったが、すべてクリアした。全国大会での経験が自信となって、学習への取組でも成長が見られた。

【C評議員】

リクエストが2つある。1つは、来年度から始まるコミュニティ・スクールの熟議の際に、ぜひ生徒を入れてほしいこと。生徒のプレゼンテーション力の向上にもなるし、社会参画の一助ともなる。主権者教育と合わせて推進してほしい。生徒にとって、自分たちの意見が取り入れられる経験を保障する貴重な機会だ。もう1つは、大学として杜陵高校にどのような貢献ができるか、高校側から提案してほしいこと。今年度は、岩大植物園への訪問があったとうかがっている。杜陵高校と岩手大学が往来しながら協力関係が築ければいい。研究やゼミ等での交流など、いろいろな方法が考えられる。

不登校の支援をしている方々との交流があるので、協力要請があれば紹介できる。

【B評議員】

校内フリースクールの活動はできないものか。学校を、近所のおじさん等色々な人が出入りできる空間としてはどうか。地域の方々と関わることによって進路目標も達成できる。フリースクールに通いたい生徒はいると思う。

私も杜陵高校にどんどん関わっていきたい。

【C評議員】

校内フリースクールは、義務教育の中で実践されている。高校であれば、居場所カフェ的な場所もある。

【A評議員】

「お話の森 まつぼっくり隊」の活動を紹介したい。高校生ボランティアも参加している。活動は、デイサービスや幼稚園での補助、様々なボランティアである。ある高校生は4人のグループを作り、「ボランティアで世界をまわせるか」という研究をした。その結果、世代間の交流に慣れ、老人との関わり方もわかってきた。他に、読み聞かせや演奏も行った。曲は「上を向いて歩こう」。大いに盛り上がった。

【B評議員】

上田の夏祭りを中央病院駐車場で行っていた。杜陵高校の生徒たちは、時給が少ないにもかかわらず、楽しそうに手伝ってくれた。このイベントは3年間中止している。来年度は実施したい。他には、秋に岩手大学を会場に地域住民や大学生との交流会を行っている。令和4年度は杜陵高校の発表会と重なってしまい残念だった。

杜陵高校の裏の駐車場でイベントをやったことがあったが周りから見えず、人が集まらなかった。

【A評議員】

どんどん大人を巻き込んでほしい。

【B評議員】

みんなを巻き込んで、みんなでいろんなことをやりましょう。

【校長】

しかけをいろいろと考えたい。

【C評議員】

杜陵高校の実践は、誰1人取り残さない教育、質が高い教育が実践されており、SDGsの取組と似ている。先生方には胸を張ってほしい。

【A評議員】

貴重な機会でした。協力を惜しまない。評議員を巻き込んでいろんなことに取り組みましょう。

【B評議員】

楽しい時間でした。杜陵高校のために何でもお手伝いする。

【校長】

1年間ありがとうございました。令和5年度からは学校運営協議会にぜひ協力してほしい。

教育長も発言しているが、本県の教育課題は、いじめと不登校。よりよい方向を目指して、杜陵高校が頑張らなければならない。

今年で退職です。本当にお世話になりました。感謝申し上げます。